

## 最高の夏

### ○はじめに

わたしは将来、海外で働きたく、その一つの道として教師という職業を選びました。そのため、海外をよく見て知っておきたいと思い、また以前から韓国の文化や韓国語に興味があったのでこのサマープログラムに参加しました。

### ○生活面

漢城大学の寮で3~4人が一部屋で一緒に生活しました。ルームメイトは皆、初対面でしたが二週間とても仲良く過ごすことができました。チキンやピザ、アイスなどをテイクアウトして部屋にみんなで集まって一緒に食べるなどして、とても楽しかったです。部屋にはテレビ、流しは無く、冷蔵庫、電子レンジ、ユニットバス、クローゼットがあります。ユニットバスにはカーテンは無く、キレイに使える自信がなかったので、各階にある共同のシャワールームを使用しました。毎日ルームメイトと一緒にシャワールームでシャワーを浴びたのはいい思い出ですし、更に仲良くなれた気がします。また、生活していて足りないものや必要になったものは現地調達でもいいと思います。わたしは予め日本から一週間分の服とハンガー2本を持って行きましたが、服は2日に一回洗濯をしたり、韓国で買ったりもしたので着なかった服もあります。ハンガーは数本、備え付けのクローゼットに置いてありましたが、置いていなかった部屋もあつたり、もし洗濯をまとめてするのであればハンガーは足りないです。寮の近くに100円ショップやマートもあるので、そこで買ってでもいいと思います。大きなバスタオルはなかなか売っていないので、持って行くべきです。その他、寮で生活していて気になることや不便なことがあれば、先生や韓国人のバディーに相談してみてください。必ず力になってくださいます。

### ○学習面

学校では漢城大学の教授で日本人の土井先生が授業をしてくださいました。授業は毎日あるわけではなく、一時間目は韓国の現代社会や文化について、二時間目は韓国語を勉強しました。寮にはテレビが無く、また移動もほぼバスだったので、韓国の今の情勢を目にする機会がなかったので、一時間目の授業は韓国の“リアル”を知ることができてよかったです。今回のプログラム参加者の中には、韓国語を学校で勉強している人から、全く触れたことのない人まで幅広くいました。なので二時間目の韓国語の授業では、簡単な会話表現を全員で勉強した後、三つのグループに分けて韓国人のバディーと一緒に勉強しまし

た。微妙な発音の違いがわからず難しかったですが、とても優しいバディーや先生が丁寧に教えてくださいました。また、わたしは毎日韓国語で日記を書き続けているのですが、その添削を土井先生や韓国人のバディーにしてもらいました。とても勉強になったので、何か自分の勉強を試してみるのもいいと思います。

#### ○困ったこと

韓国は坂道が多く、移動のほとんどがバスだったので酔ってしまいました。酔いやすいのであれば、日本から酔い止めを持って行くことをオススメします。韓国にも売っているそうですが、日本から持って行くほうが安心できると思います。

寮はクーラーをつけると乾燥が気になりました。目が乾燥してコンタクトが入らなったり、喉が乾燥したりしました。マスクをして寝たりするといいかもしれません。やはり体調を崩さず健康に生活することが第一なので、ひどいと感じたらルームメイトと相談したり、先生やバディーと話してみてください。

#### ○最後に

わたしはこのサマープログラムを通して大切な人たちや新たな目標ができました。日本全国から志の高い仲間や、韓国人の努力家なバディーや先生方と過ごせてとても刺激になり、新しい発見もありました。プログラム参加前に韓国語を勉強していましたが、いかに自分が本の中でしか韓国語を知らなかったかを思い知らされたような気がします。行ってみないとわからないこと、感じられないことが絶対にあります。わたしはこのサマープログラムに参加できて、心から良かったと思います。思い出だけで戻りたくなったり、懐かしく恋しくなります。過ぎた日は戻っては来ませんが、本当にかげがえのない期間でした。



